

埼玉県立大学・大学院入学式によせる埼玉県議会議長メッセージ

晴れて今日のよき日を迎えられた皆さん、御入学おめでとうございます。また、今日まで深い愛情を注ぎ、成長を見守ってこられた御家族の皆様の喜びも、格別のことと存じます。心からお喜び申し上げます。

さて、本県は後期高齢者人口が全国一のスピードで増加していくと見込まれており、核家族世帯割合も高いため、介護の負担が大きな問題となっています。高齢者だけではなく。医療的ケア児や高次脳機能障害者など、介護や看護を必要としている方が多くいらっしゃいます。そのような中、家族などの介護や看護に追われ、介護者（＝ケアラー）自身が体調を崩したり、社会から孤立したりする事例が後を絶ちません。

そこで、本県議会では、ケアラーの支援に関して県の責務等を明らかにし、その施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする「埼玉県ケアラー支援条例」を議員提案で制定いたしました。全てのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現に向け、一步を踏み出したところです。

医療や介護を必要とする方の増加への対応は正に喫緊の課題です。こうした中、県民が安心して暮らせる社会を築くためには、医療・保健・福祉の専門職の果たす役割が非常に重要であり、そ

それぞれの分野でスペシャリストを目指す皆さんへの期待も、大きなものとなっています。

皆さんは今、これから始まる学生生活を前に、大いに意欲を燃やしていることと思います。今日の気持ちを忘れることなく、この埼玉県立大学で専門知識や技術を身に付けていただくとともに、多くの人との交流を通じて、豊かな人間性を育んでいただきたいと思います。皆さんが大きく、たくましく羽ばたかれる日を楽しみにしております。

結びに、新入生の皆さんの輝かしい前途を心からお祝い申し上げますとともに、御参会の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

令和2年4月 埼玉県議会議長 田村 琢実